

# とっとり文学探訪マップ

## みほじんじゃ 美保神社

えびす様の総本宮、海上安全・大漁を守護。社を前に司馬は、海を渡ってきた船頭らが詣でる姿を浮かべたのでした。

## ゆみかはまはんとつ 弓ヶ浜半島

白砂青松の半島。国引き神話を思い起こした司馬は「砂のロープ」と表現しました。

## 拡大マップ 米子市

## 拡大マップ 大山・榎水高原

## 小泉八雲「日本海の民俗発見」ルート

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が日本の民俗に感動しながら通った道をたどり、日本海沿岸の絶景と独特の文化を堪能してください。

## 新編 日本の面影 (角川ソフィア文庫)

ラフカディオ・ハーン/著 池田雅之/訳

古き良き日本の景色、人々の暮らしをハーンの視点で鮮やかに表現。行く先々で見聞きた民俗の細かい描写も読み応えがあります。

**登場スポット** 上市(現在の大山町下市)、花見潟基地、浜村温泉



## 《司馬遼太郎》山の寺、海の社で古事を思う 大山～美保神社コース

このマークの神社を巡ろう!

## 因幡伯耆國 開運八社巡り

縁起のよい名前の神社8社+その年の干支にちなんだ神社を参拝、「開運手ぬぐい(500円)」に朱印を集めて開運祈願してみませんか。旅の思い出におすすめ!

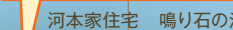
TEL 0857-39-2111 (鳥取県観光連盟)




**はなみがたぼち  
花見湯墓地**  
日本最大級の自然発生墓地。約2万基の墓石群にハーンは驚き、世の無常を思いました。




**みょうげんじ  
妙元寺**  
曹洞宗の寺院。こちらの境内でハーンは日本の盆踊りを初めて見たとされています。




**とうごうおんせん  
東郷温泉**  
東郷湖畔の名湯。レイクビューの湯殿はまるで湖に浸かっているかのような気分に。




**しとりじんじや  
倭文神社**  
織物を生業とする倭文部が祖神を祭った神社。伯耆国一の宮。境内には「安産岩」も。



**なつどりこう  
夏泊港**  
鹿野城主・亀井茲矩の命で開かれた小さな漁港。県内で唯一海女漁が残っています。



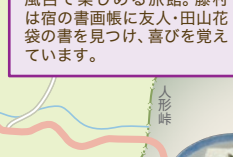
**はまむらおんせん  
浜村温泉**  
ハーンが「小さい美しい村」と著した日本海沿いの温泉。民謡「貝殻節」発祥の地。




**だいせんじ  
大山寺**  
天台宗の古刹。参道には作中に登場する僧兵の大將・信濃坊源盛の石碑があります。



**いざんろう いわさき  
依山楼 岩崎**  
ラジウム温泉を回遊式露天風呂で楽しめる旅館。藤村は宿の書画帳に友人・田山花袋の書を見つけ、喜びを覚えています。



**みとくさん さんぶつじ  
三徳山三佛寺**  
険しい山道の果てには国宝「投入堂」が。司馬は三朝名物の木綿豆腐を食し、素朴な味を堪能しました。



**司馬遼太郎「因幡&伯耆の歴史探訪」**

『街道をゆく』に登場する因幡・伯耆の旅路を3つのコース。この地の素朴な自然と深い歴史文化を文豪気分であらためて旅する。

**街道をゆく27 (朝日新聞出版)**  
因幡・伯耆のみち、梶原街道  
司馬 遼太郎/著

作家・司馬遼太郎が実際に歩き思索した大紀行文学。鳥取県の豊かな自然と息づく歴史文化を丁寧に掘り起こした著述に引き込まれます。

**登場スポット** 早野、因幡国庁跡、鳥取砂丘、白兎海岸、鹿夏泊港、倭文神社、三徳山三佛寺、倉吉市、美保関灯台、美保神社

# 兵庫 県



**はくとがいがん 白兔海岸**  
 「因幡の白うさぎ」伝説の地。司馬のユニークな神話考察とともに渚を歩いてみて。  
 「美しい村」海沿いの温泉。祥の地。

**とっとりさきゅう 鳥取砂丘**  
 日本海を望む広大な砂の丘陵地。美景のみならず、司馬は農民の砂との闘いにも注目。

**《司馬遼太郎》 神話と戦国の世界を散策 白兔海岸～倭文神社コース**

**しかのじょうあと 鹿野城跡**  
 戦国武将・亀井茲矩公の居城跡。司馬は公の治世を「あざやかな治績」と評しています。

**かんすいてい 観水庭ごぜにや(小銭屋)**  
 JR鳥取駅前、自家源泉を持つ温泉宿。体調を崩した藤村はここで旅の疲れを癒しました。

**あかしや 明石家(屋)**  
 岩井温泉の老舗旅館。藤村は土地の風習「湯かむり歌」を聞いて夏の夜を楽しみました。

## 鳥崎藤村「鳥取の名湯めぐり」ルート

鳥崎藤村が訪れた鳥取の温泉地には、投宿した旅館が今も残っています。周辺の観光スポットと合わせ、名湯めぐりを楽しんでみませんか。

## 山陰土産その他(改造社)

鳥崎 藤村/著  
 藤村が次男・鶴二と二人で出かけた、気ままな山陰旅日記。昭和初期の風景、人々ののどかな暮らしぶりの描写は旅情を誘います。

**登場スポット** 岩井温泉、明石屋(宿)、浦富海岸、小銭屋(宿)、三朝川、岩崎(宿)など

**いなばこくちょうあと 因幡国庁跡**  
 柱根を残した平安初期の遺構。史跡の前に司馬は因幡の国守を務めた万葉歌人・大伴家持へ思いを馳せました。

## 《司馬遼太郎》 山から海へ、原風景をたどる 智頭・早野～鳥取砂丘コース

**わさの 早野**  
 県境近く、山間の小集落。近所の開業医の故郷であったこの地を訪ねることから司馬の因幡旅が始まります。

## 「歴史探訪」ルート

このコースに分けました。自分で旅してみませんか。

**【凡例】**

	高速道路(無料)		県境		山
	高速道路(有料)		市町村境		温泉
	国道		山陰ジオパークエリア		文化財
	県道・その他道路		道の駅		石碑
	鉄道(JR/私鉄)		PA		サービスエリア

※鳥崎藤村、司馬遼太郎、小泉八雲の各ルートは観光コースとしての設定であり、必ずしも著作者らが通った道筋どおりではありません。

# 米子市

思想の詩人・生田春月の影を探して



# 大山・柘水高原

文学の着想をもたらす  
霊山のパワーを感じて



## 赤朽葉家の伝説

桜庭 一樹 / 著 (創元推理文庫)

製鉄業を営む名家の女三代記。鳥取県出身の直木賞作家が故郷をモデルにした架空の村を舞台に描く独特の世界観に引き込まれます。

■登場スポット  
鳥取県西部、紅緑村(架空の村)



## 暗夜行路

志賀直哉

## 暗夜行路

志賀 直哉 / 著 (新潮文庫)

志賀直哉の自叙的長編小説。苦悩を背負った主人公・時任謙作の心を癒したのは「大山」の雄大な自然。その情景描写が読みどころ。

■登場スポット  
大山



## 絶唱

大江 賢次 / 著 (河出書房新社)

大地主の息子と山番の娘の純愛を描いた、伯耆町出身の作家・大江賢次の代表作。戦中の時代背景も絡んだ悲恋に涙が止まりません。

■登場スポット  
大山

# 琴浦町

文人・芸術家の足跡をたどって旧街道を歩く

# 三朝町

**菊港・波しぐれ三度笠**  
 菊港の東突堤に建つ流政之氏作の石造彫刻。人生の旅路へ向かう姿を表しています。

**塩谷定好写真記念館**  
 芸術写真家・塩谷定好の生家。写真ギャラリー、蔵を利用したカフェがあります。

**神崎神社**

**日本海**

**日韓友好交流公園 風の丘**

**旧中井旅館**  
 ハーンが新婚旅行で訪れたお宿で怪談のシアター紙芝居が鑑賞できます。  
 TEL 0858-55-7811(要予約)

**大経寺**  
 司馬遼太郎著『菜の花の沖』の主人公・高田屋嘉兵衛を育てた堺屋喜兵衛一族の墓所。

**八橋海水浴場**  
 ハーンが好んで何度も泳いだ海岸。浜には来訪記念碑が。

**河本緑石追悼句碑**  
 河本緑石の死を悼み、種田山頭火が詠んだ追悼句の石碑が建っています。  
 「波のうねりを影がおよよ」他

**逢東あじさい公園**

**山本おたふく堂**

**宝製菓**

**琴の浦**

**ふろしきまんじゅう**  
 阿波和三盆糖と黒砂糖を使った素朴な蒸しまんじゅう。程よい甘さで美味。

**大経寺**

**山本おたふく堂**

**至北栄町**

**やばせ**

**体玄寺**

**至大山町**

**至 R9・倉吉駅**

**三朝橋**

**旅館大橋**  
 建物は国登録有形文化財。館内には著名人の掛軸などが。

**かじかの湯(足湯)**

**温泉広場**

**たまわりの湯**

**三朝温泉 観光商工センター(観光案内所)**

**歌碑**  
 ・与謝野晶子  
 ・三朝野鉄幹(晶子)  
 ・木下利玄(野口雨情)

**三朝トンネル**

**至 R9・倉吉**

## どがでもバンドやらいでか! 丁田 政二郎/著 (ポプラ社)

80年代の倉吉、高2男子・宮田がバンド結成のためがむしやりに走り回る青春ストーリー。いきいきとした方言のセリフも魅力。

■登場スポット  
 白壁土蔵群、玉川、打吹公園

## 怪談の道 内田 康夫/著 (角川文庫)

浅見光彦シリーズのミステリー小説。鳥取県中部を舞台に起こった殺人事件と、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)との関わりに注目。

■登場スポット  
 白壁土蔵群、打吹山、東郷温泉、倭文神社、羽衣石山、三朝温泉、人形峠

## 日本温泉めぐり 田山 花袋/著 (角川春樹事務所)

自然主義派の小説家・田山花袋が約100年前の温泉旅を綴った紀行文。訪れた東郷温泉の眺望、食材の豊かさなどを贅辞しています。

■登場スポット  
 東郷温泉



# 三朝町

文豪たちの  
心と体を癒した名湯



# 鳥取市

漂泊の俳人尾崎放哉の  
故郷をめぐる

★…尾崎放哉句碑



※鳥取市内にはこの他にもたくさんの放哉句碑が建立されています。

## 本温泉めぐり

山花袋/著 (角川春樹事務所)

主義派の小説家・田山花袋が約100の温泉旅を綴った紀行文。訪れた東泉の眺望、食材の豊かさなどを賛辞しています。

場スポット  
温泉



## 鳥取難送り殺人事件

内田 康夫/著 (光文社)

浅見光彦事件簿47作目。殺人現場の遺留品は、用瀬町に残る風習・流しびなの棧俵と若桜三倉石。真相を追って光彦が鳥取を奔走!

■登場スポット  
流しびなの館、若桜町歴史民俗資料館 (若桜郷土文化の里)



## なぜかいい町一泊旅行

池内 紀/著 (光文社)

16の小さな町を訪れたひとり旅のエッセイ。その心に留まった若岩町の旅では、尾崎翠の作品を交えながら町の情景を伝えています。

■登場スポット  
浦富海岸、岩井温泉、花屋旅館(宿)、荒砂神社